

公正証書遺言（サンプル）

遺言公正証書

本公証人は、遺言者〇〇〇〇の囑託により、証人〇〇、同〇〇の立ち会いのもと遺言の口述を記録してこの証書を作成する。

第1条 遺言者は、遺言者の妻 山田 花子に対し、次の資産を相続させる。

(1)土地

所在 愛知県一宮市〇〇町〇〇丁目
地番 〇〇番〇〇
地目 宅地
地積 165平方メートル

(2)建物

所在 愛知県一宮市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
家屋番号 〇〇番〇〇
種類 居宅
構造 木造瓦葺き2階建て
床面積 1階 84.56平方メートル
2階 44.36平方メートル

(3)預貯金

遺言者名義の預貯金
〇〇銀行〇〇支店（普通 口座番号〇〇〇〇）

第2条 遺言者は、長男 山田 二郎に対し、次の資産を相続させる。

(1)預貯金

遺言者名義の預貯金
××銀行××支店（普通 口座番号〇〇〇〇）

(2)株式

遺言者名義の株式
〇〇証券株式会社の管理口座の株式

第3条 遺言者は、次女 鈴木 良子に対し、次の資産を相続させる。

(1)預貯金

遺言者名義の預貯金
△△銀行△△支店（普通 口座番号〇〇〇〇）

第4条 遺言者は、遺言執行者として次の者を指名する。

愛知県名古屋市〇〇区〇〇町〇〇番地〇〇
伊藤 三郎

本旨外要件

住所 愛知県一宮市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
遺言者 山田 太郎
生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日

右は印鑑証明書の提出により、人違いでないことを証明させた。

住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

証人 ○○ ○○
生年月日 昭和○○年○○月○○日

住所 ○○県○○市○○町○○丁目○○番地
証人 ○○ ○○
生年月日 昭和○○年○○月○○日

以上の通り読み聞かせたところ、一同その記載に誤りがないことを承認し、証明押印する。

遺言者 山田 太郎 印
証人 ○○ ○○ 印
証人 ○○ ○○ 印

この証書は平成○○年○○月○○日 本職役場にて、民法969条第1号ないし第4号に定める方法に従って作成し、969条第5号に基づき、本職次に署名押印する。

○○県○○市○○町○○丁目○○番地
○○法務局所属 公証人 ○○ ○○ 印